

高畠 柊人さん(生命・食料科学専攻、博士前期課程2年)が日本きのこ学会第29回大会において学生発表優秀賞を受賞しました

令和8年8月31日から9月1日にかけて朱鷺メッセにて開催された日本きのこ学会第29回大会において、自然科学研究科 生命・食料科学専攻 応用生命・食料科学コース 博士前期課程2年の高畠柊人さんが学生発表優秀賞を受賞しました。

アルツハイマー型認知症の治療薬としてアセチルコリンエステラーゼ (AChE) の阻害剤が使用されていますが、本発表は高い AChE 阻害活性を持つタモギタケに複数の阻害活性物質が存在することを明らかにするとともに、タモギタケの傘から2つの阻害物質を精製し、構造を明らかにしたものです。今後、タモギタケを用いた認知症の改善や進行を遅らせる医薬品や健康食品の開発につながる事が期待されます。

指導教員：自然科学系（農学部）城 斗志夫 教授

受賞演題：タモギタケに含まれるアセチルコリンエステラーゼ阻害活性物質の精製

発表者：○高畠柊人、原 崇、三亀啓吾、北岡本光、城斗志夫（新潟大院・自然科学、新潟大・農）

関連学会や研究内容 URL <https://www.jsmsb.jp/information/2026/95108/>

